

おいしいお米

田幸小学校

三年

しき本

まひろ

「おちやわんにごほんつぶがのこっているよ。」

これがわたしのお父さんの口ぐせです。わたしの家では、おじいちゃんとお父さんがお米を作っています。おじいちゃんは、とくにたくさんのお米を作っているので大へんだと思います。

わたしも小さいころからもみがらマツト入れや種まき、田植え、いねかりを手つだっています。わたしは、いねをしゅうかくするコンバインでいねかりをすると、「ゼーレ」「ゼーレ」「ゼーレ」という音がして、ものすごいいきおいでもみがいい。ぱいになるからです。

田植えやいねかり以外にもたくさんの作ギョウがあります。田植えの後も、田んぼの水を見に行ったり、くすりをまいたり、ひりょうをまいたりします。イノシシが来ないよう電

さくをします。お米という字は、八十八とか
きます。お父さんが言っていました。

「お米作りには、ハヤハの手間がかかるから
だよ。」

さい近は、夏があつくてお米が作りにくく
なっています。あついで夏でもおじいちゃんや
お父さんは、朝早くから田んぼに行っています
す。あたしは、なんで大へんなのにお米を作
っているのかなと思いました。でもお父さん
は、お米作りは楽しいと言っています。と

くに秋になつてお米を食べる時がうれしそ
うです。あたしには、まだお米作りの楽しさ
はわからないけど、ごはんを大切にしているこ
さないように食べようと思います。お父さん
とおじいちゃんががんばって作ったお米は、
世界一おいしいです。あたしが大人になつた
ら手つだつてあげようと思つています。もし
上手に作れるようになったら、世界一おいし
いお米を作つて、みんなに食べさせてあげて
ゆめをいじりたいです。